

2024(令和6)年度 国立博物館収蔵品貸与促進事業 実施対象館が決定！

— 国立博物館所蔵の文化財 86 件が鹿児島・岐阜・福井・愛知・栃木・茨城へ —

国立文化財機構 文化財活用センター(ぶんかつ)が作品輸送費等を支出し、東京国立博物館・京都国立博物館・奈良国立博物館・九州国立博物館の4つの国立博物館が収蔵品を貸し出す「国立博物館収蔵品貸与促進事業」において、2024年度事業の実施対象館が決定いたしました。

これにより国立博物館が所蔵する各地域ゆかりの文化財86件が、鹿児島、岐阜、福井、愛知、栃木、茨城の6つの施設で順次公開される予定です。

2024年度 国立博物館収蔵品貸与促進事業 実施対象館(会期順)

対象館：鹿児島市立美術館(鹿児島県)
展覧会名：鹿児島市立美術館開館70周年記念「没後100年 黒田清輝とその時代」
会期：2024年7月24日(水)～2024年9月1日(日)
貸与予定件数：43件

対象館：岐阜県美術館(岐阜県)
展覧会名：「清流の国ぎふ」文化祭2024 PARALLEL MODE:山本芳翠展
会期：2024年9月27日(金)～2024年12月8日(日)
貸与予定件数：6件

対象館：福井市立郷土歴史博物館(福井県)
展覧会名：鉄(くろがね)の名工 越前明珍(えちぜんみょうちん)
会期：2024年10月19日(土)～2024年12月1日(日)
貸与予定件数：6件

対象館：豊橋市美術博物館(愛知県)
展覧会名：銅鐸の国－伊奈銅鐸出土100年－
会期：2024年11月30日(土)～2025年2月2日(日)
貸与予定件数：14件

対 象 館 :佐野市立吉澤記念美術館(栃木県)
展 覧 会 名 :佐野市合併 20 周年記念特別企画展
「丸山瓦全と佐野の文化財保護～天明鋳物を護り、エラスムス像を見つけた～」(仮称)
会 期 :2025 年 1 月 25 日(土) ～ 2025 年 3 月 9 日(日)
貸与予定件数 :9 件

対 象 館 :茨城県立歴史館(茨城県)
展 覧 会 名 :開館 50 周年記念 春の特別展「雪村一常陸に生まれし遊歴の画僧一」
会 期 :2025 年 2 月 15 日(土) ～ 2025 年 4 月 6 日(日)
貸与予定件数 :8 件

2024 年度 国立博物館収蔵品貸与促進事業 展覧会概要(会期順)

<鹿児島市立美術館>

鹿児島市立美術館開館 70 周年記念「没後 100 年 黒田清輝とその時代」

貸与予定件数:43 件

会期 :2024 年 7 月 24 日(水) ～ 2024 年 9 月 1 日(日)

URL:<https://www.city.kagoshima.lg.jp/artmuseum/>

X(旧 Twitter):<https://twitter.com/kcmoa>

Instagram:https://www.instagram.com/kcmoart_ig/

Facebook:<https://www.facebook.com/kcmoart>

みどころ:2024 年に開館 70 周年を迎える鹿児島市立美術館では、没後 100 年となる日本近代を代表する郷土作家・黒田清輝(1866～1924)の足跡を多角的に紹介する展覧会を開催します。鹿児島で生まれた黒田は、法律の修学を志して留学したフランスで絵画の道へ転向しました。帰国後、清新な画風で日本の洋画を開拓し、生涯にわたって日本の美術振興に力を注いだその存在は、鹿児島において藤島武二(1867～1943)や和田英作(1874～1959)をはじめとした作家たちの輩出にも影響を及ぼしました。本展では、黒田清輝筆「湖畔」(重要文化財)をはじめ、東京国立博物館が所蔵する黒田、そして同時代に活躍した画家の作品をあわせ 43 件を貸し出す予定です。



重要文化財 湖畔 黒田清輝筆
明治 30 年(1897) カンバス・油彩
東京国立博物館蔵 (※貸与予定作品)

<岐阜県美術館>

「清流の国ぎふ」文化祭 2024 PARALLEL MODE:山本芳翠展

貸与予定件数:6 件

会期 :2024 年 9 月 27 日(金) ~ 2024 年 12 月 8 日(日)

URL:<https://kenbi.pref.gifu.lg.jp/>

X(旧 Twitter):<https://twitter.com/gifukenbi>

Instagram:<https://www.instagram.com/explore/locations/728949042/>

Facebook:<https://www.facebook.com/gifukenbi.jp/>

みどころ: 日本洋画の素地を築いた山本芳翠(1850~1906)は、美濃国恵那郡野志村(岐阜県恵那郡明智町)生まれの近代洋画家です。五姓田芳柳(1827~1892)に学び、のちフランスで本格的な油彩画技法を身に着けました。帰国後の活動は、明治美術会や白馬会などの美術団体結成、日清・日露戦争への従軍画家としての参加、演劇等他の芸術分野との交流など多彩なものでした。本展では、山本芳翠や黒田清輝(1866~1924)らの作品を通して彼らがフランスから日本へもたらした明治洋画が、今日までどのように受け止められてきたのか考察します。東京国立博物館から、山本芳翠筆「月夜虎」ほか、黒田清輝作品とあわせて 6 件の作品を貸し出す予定です。



花化粧 山本芳翠筆

明治時代・19 世紀 カンバス・油彩
東京国立博物館蔵 (※貸与予定作品)

<福井市立郷土歴史博物館>

鉄(くろがね)の名工 越前明珍(えちぜんみょうちん)

貸与予定件数:6 件

会期 :2024 年 10 月 19 日(土) ~ 2024 年 12 月 1 日(日)

URL:<http://www.history.museum.city.fukui.fukui.jp/>

X(旧 Twitter):<https://twitter.com/FukuiHistory/>

Facebook:<https://ja-jp.facebook.com/fukuihistory/>

みどころ: 福井藩主越前松平家のお抱え甲冑師「越前明珍」は代々小左衛門吉久を名乗り、甲冑・自在置物・鉄鐺など、鍛鉄とその加工技術を巧みに用いた名作を遺しています。本展では、明珍を中心とする越前の鍛冶の作品の数々、全国の明珍派はじめ名工が手がけた「自在置物」などを一堂に集め、江戸時代の金属加工技術の粋と、その中で確かな位置を占める越前明珍の軌跡を追います。東京国立博物館から「自在鷹置物」、「甲冑金物」など 6 件を貸し出す予定です。



自在鷹置物 明珍清春作

江戸時代・18~19 世紀 鉄製 鍛造
東京国立博物館蔵 (※貸与予定作品)

<豊橋市美術博物館>

銅鐸の国－伊奈銅鐸出土 100 年－

貸与予定件数:14 件

会期 : 2024 年 11 月 30 日(土) ~ 2025 年 2 月 2 日(日)

URL:<https://toyohashi-bihaku.jp/>

X(旧 Twitter):<https://twitter.com/toyohashibi>

Instagram:

https://www.instagram.com/toyohashi_bihaku/?hl=ja

Facebook:<https://www.facebook.com/toyohashibi/>

みどころ:大正 13 年(1924)12 月 27 日に、宝飯郡小坂井村伊奈字松間の麦畑(現・豊橋市立前芝中学校校庭)から 3 口の三遠式銅鐸が出土し、その後、東京帝室博物館に収蔵されました。本展は、出土から 100 年を記念し、国内有数の銅鐸集中地帯として知られる三河・遠江地方から出土した銅鐸を一堂に会し、銅鐸の果たした意義と弥生時代の社会を考える展覧会です。東京国立博物館から 13 件、奈良国立博物館から 1 件の銅鐸を貸し出す予定です。



突線鈕 3 式銅鐸

弥生時代(後期)・1~3 世紀

愛知県豊川市小坂井町伊奈松間出土
東京国立博物館蔵 (※貸与予定作品)

<佐野市立吉澤記念美術館>

佐野市合併 20 周年記念特別企画展

「丸山瓦全と佐野の文化財保護～天明鋳物を護り、エラスムス像を見つけた～」(仮称)

貸与予定件数:9 件

会期 : 2025 年 1 月 25 日(土) ~ 2025 年 3 月 9 日(日)

URL:<https://www.city.sano.lg.jp/sp/yoshizawakinembijutsukan/index.html>

Instagram:https://www.instagram.com/yoshizawa_muse_sano/

みどころ:佐野市立吉澤記念美術館では佐野市合併 20 周年を記念し、足利の考古学者・丸山瓦全(1874~1951)を取り上げた展覧会を開催します。丸山瓦全は、少年期を母の実家である葛生(佐野市)の吉澤家で過ごしました。同家は江戸時代後期以来書画に親しんだことから、瓦全も幅広い文物に深い関心を持ちました。龍江院(佐野市)にあったリーフデ号船尾像の発見・調査と旧国宝指定、天明鋳物研究と戦時下における梵鐘保護活動など、栃木県の文化財保護に大きな功績を残しました。本展では「銅梅竹透釣燈籠」(重要文化財)をはじめ、東京国立博物館から 9 件を貸し出す予定です。



重要文化財 銅梅竹透釣燈籠

室町時代・天文 19 年(1550)

千葉市中央区千葉寺町千葉寺址出土 銅製
鋳造 畑野勇治郎氏寄贈

東京国立博物館蔵 (※貸与予定作品)

<茨城県立歴史館>

開館 50 周年記念 春の特別展「雪村—常陸に生まれし遊歴の画僧—」

貸与予定件数:8 件

会期 :2025 年 2 月 15 日(土) ~ 2025 年 4 月 6 日(日)

URL:<https://rekishikan-ibk.jp/>

X(旧 Twitter):https://twitter.com/Ibaraki_rekishi

Instagram:<https://www.instagram.com/ibareki.official/>

みどころ:茨城県立歴史館は開館 50 周年を記念し、常陸の国の部垂(現在の茨城県常陸大宮市)を出生地とする戦国時代の画僧・雪村周継の名品を紹介する展覧会を開催します。雪村は常陸北部を領した佐竹一族として生まれ、幼くして出家すると正宗寺などで画業の修練を重ねます。のちには会津や小田原、鎌倉などを訪れて画才を磨き、晩年は会津や三春(現在の福島県田村郡三春町)を往来しながら多くの傑作を生み出しました。本展では、雪村の作品とともに雪村を育んだ時代や地域に関連する資料を紹介し、茨城県および周辺地域の歴史と文化の奥深さや交流の様子などにも触れていきます。東京国立博物館からは「鷹山水図屏風」(重要美術品)を含む 4 件、京都国立博物館からは「雪景山水図」など 4 件、あわせて 8 件を貸し出す予定です。



雪景山水図 雪村周継筆

室町時代・16 世紀 紙本墨画

谷口豊三郎氏寄贈

京都国立博物館蔵 (※貸与予定作品)

2025 年度「国立文化財機構所蔵品貸与促進事業」募集予定

2025 年度から事業名称が「国立文化財機構所蔵品貸与促進事業」となり、従来の 4 つの国立博物館に加えて東京・奈良の 2 つの文化財研究所の所蔵品も貸出対象となります。

2024 年 4 月 1 日(月)から、2025 年度国立文化財機構所蔵品貸与促進事業実施対象館の申請受付を開始します。

申請受付期間:2024 年 4 月 1 日(月)~6 月 28 日(金) [17 時必着]

貸与促進事業の申請、展覧会情報に関する詳細は、以下の〈ぶんかつ〉公式ウェブサイトでご確認いただけます。

URL:https://cpcp.nich.go.jp/modules/r_free_page/index.php?id=3

全国の美術館・博物館からのご応募をお待ちしています。

申請受付期間

令和6(2024)年4月1日(月)▶▶▶ 6月28日(金)[17時必着]

申請要項書類は文化財活用センターのウェブサイトからダウンロードできます <https://cpcp.nich.go.jp/>



事業内容

▶以下のいずれかの区分への申請が可能です。

(※ただし、同年度に同一館が複数の申請を行うことはできません。)

区分	貸与できる所蔵品数	選定予定施設数
① 【大規模貸与】	1 申請につき 21~50 件 の所蔵品を貸与	各年度 1~2か所 を選定予定
② 【小規模貸与】	1 申請につき 20 件以内 の所蔵品を貸与	各年度 4~5か所 を選定予定

▶申請にあたっては、以下のいずれかの方法で借用希望作品リストを作成してください。

※国立博物館及び文化財研究所の所蔵品検索にあたっては、ColBase (<https://colbase.nich.go.jp/>)等をご参照ください。

方法 1

国立博物館・文化財研究所の所蔵品の中から申請館が自ら設定したテーマに沿って作品を自由に選択してリストを作成。

方法 2

貸与可能作品リスト(以下の **a.【日本考古】** 及び **b.【黒田】**)を活用し、必要に応じて国立博物館・文化財研究所の所蔵品を加えてリストを作成。

a.【日本考古】	b.【黒田】
東京国立博物館所蔵の日本考古資料を中心に貸与 【申請要項】別紙1-①参照	東京国立博物館所蔵の黒田清輝作品を中心に貸与 【申請要項】別紙1-②参照
貸与可能作品例	貸与可能作品例
 <p>みみずく土偶 縄文時代(前期) 前1000~前400年 埼玉県鴻巣市滝馬塚出土</p> <p>突線鈕式銅鐸 弥生時代(前期) 1~3世紀 和歌山県みなべ町西本庄出土</p>	 <p>重要文化財 湯野 黒田清輝筆 明治30年(1897)</p> <p>重要文化財 智・惑・情 黒田清輝筆 明治32年(1899)</p>

2025 年度国立文化財機構所蔵品貸与促進事業 募集チラシ

■文化財活用センター <https://cpcp.nich.go.jp/>

2018年に設置された、文化財活用のためのナショナルセンターです。「文化財を1000年先、2000年先の未来に伝えるために、すべての人びとが、考え、参加する社会をつくる」というビジョンを掲げ、「ひとりでも多くの人が文化財に親しむ機会をつくる」ことをミッションとして、さまざまな活動をしています。



ぶんかつ公式サイト

<https://cpcp.nich.go.jp/>

X(旧 Twitter) @cpcp_nich ぶんかつ

https://twitter.com/cpcp_nic

Instagram @cpcp_nich ぶんかつ

https://www.instagram.com/cpcp_nich/

◇本件についてのお問い合わせ◇

国立文化財機構 文化財活用センター 貸与促進担当

〒110-8712 東京都台東区上野公園 13-9

E-mail: taiyo-cpcp@nich.go.jp

TEL:03-5834-2856 <9時30分~17時(土日祝日を除く)>